

2009年12月7日

環境省・国土交通省後援

第2回「日本興亜エコ安全ドライブコンテスト」の成果をお知らせします ～ 燃費減少率▲2.1%、事故件数減少率▲13.5% ～

日本興亜損害保険株式会社(社長 兵頭 誠)は、「環境保全」と「交通事故の少ない社会づくり」を目的に「エコ安全ドライブ」の普及に努めております。弊社では、エコ安全ドライブをより多くのお客様に取り組んでいただくために、エコ安全ドライブ促進を目的としたコンテストを昨年10月より実施しており、多くの企業にご参加いただいております。

今般、4月から9月までの6ヶ月間にわたり実施してまいりました、第2回「日本興亜エコ安全ドライブコンテスト」の成果がまとまりましたのでお知らせいたします。

◆背景

- ▶各企業が環境問題に対してさまざまな取組みを講じるなか、特に二酸化炭素(CO₂)の削減は、京都議定書の発効や政府が発表した25%削減の中期目標などにより、特に関心が高くなっています。
- ▶一方で、景気の後退等を背景に車両の燃料費節減の対策を講じる企業が増えてきています。
- ▶自動車を運転する際に「少し緩やかに発進する、余裕をもった車間距離をとる」などのエコドライブを実践すると、交通事故の防止にも大きな効果のあることが確認されており、(社)日本損害保険協会において「エコ安全ドライブ」として推奨しています。
- ▶エコ安全ドライブの普及と促進を目的とした本コンテストは、環境省と国土交通省の後援を得ております。

◆コンテストの成果について

- ・第2回コンテストの成果は、燃費減少率 ▲2.1%、事故件数減少率 ▲13.5%となりました。
- ・参加企業の約78%において、コンテスト期間中の事故発生件数が前年以下となりました。

第2回「日本興亜エコ安全ドライブコンテスト」の成果

- 参加企業 5,745社 (参加台数 約22万台)
- 事故発生件数が前年以下となった企業 4,509社 (参加企業の78.5%)
- 燃費減少率 ▲2.1% 事故件数減少率 ▲13.5%
- 入賞 燃費部門 946社
事故率部門 3,022社



— 当社オリジナルエコキャラクター —

※なお、現在実施中の第3回エコ安全ドライブコンテスト(10月～3月)にも6,358社(参加車両台数 約25万台)と多くの皆様にご参加いただいております。弊社が展開しているエコ安全ドライブの取組みが定着しつつあります。

～ご参考～

◆エコ安全ドライブとは

次の5つのポイントを実践することで環境にやさしく、さらに交通事故も減らす効果があるドライブテクニックです。

I. ふんわりアクセル「eスタート」	やさしい発進を心がけましょう！ 普通より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20キロ目安)だけで11%程度燃費が改善。
II. 早めのアクセルオフ	エンジンブレーキを積極的に使しましょう！ エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止されるので2%程度燃費が改善。
III. 加減速の少ない運転	交通状況に応じた安全な速度変化の少ない運転に努めましょう！ 加減速の機会が多くなると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化。
IV. 車間距離は余裕をもとう	車間距離は余裕をもって運転しましょう！ 車間距離に余裕がないと、速度にむらが出て、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化。
V. タイヤの空気圧をこまめにチェック	タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しよう！ タイヤの空気圧が適正値より50kPa 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化。

出典：(社)日本損害保険協会「エコ安全ドライブリーフレット」



◆「エコ安全ドライブインストラクター制度」の概要

弊社では、エコ安全ドライブの定着を図る目的で、財団法人省エネルギーセンター(*)の全面的な協力を得て、2009年4月より当社独自の「エコ安全ドライブインストラクター制度」を創設しております。お客様に対してエコ安全ドライブのポイントの説明や、ご希望により講習会(無料)の開催などを行っています。

現在までに当社代理店・社員で合計約9,000名(2009年11月末現在)がインストラクターとして登録されています。

(*) 財団法人省エネルギーセンター：

1978年に設立された経済産業省所管の財団法人で、あらゆる産業の省エネルギーに関する啓蒙・指導を行っている。「エコドライブ普及員」資格は、法令などによる資格ではありませんが、エコドライブ分野では著名な同センターの実技を含む教習を受講し認定されるものです。